

いきもの広場

① アケビコノハの幼虫



アケビの葉を食べます。目玉模様をつき出すような、頭部を折りたたんだポーズが特徴的。

② キタキチョウの幼虫とさなぎ



ネムノキの葉を食べます。現在、様々な大きさの幼虫や、さなぎを見ることができます。成虫も広場内を飛んでいます。

③ コバネイナゴ

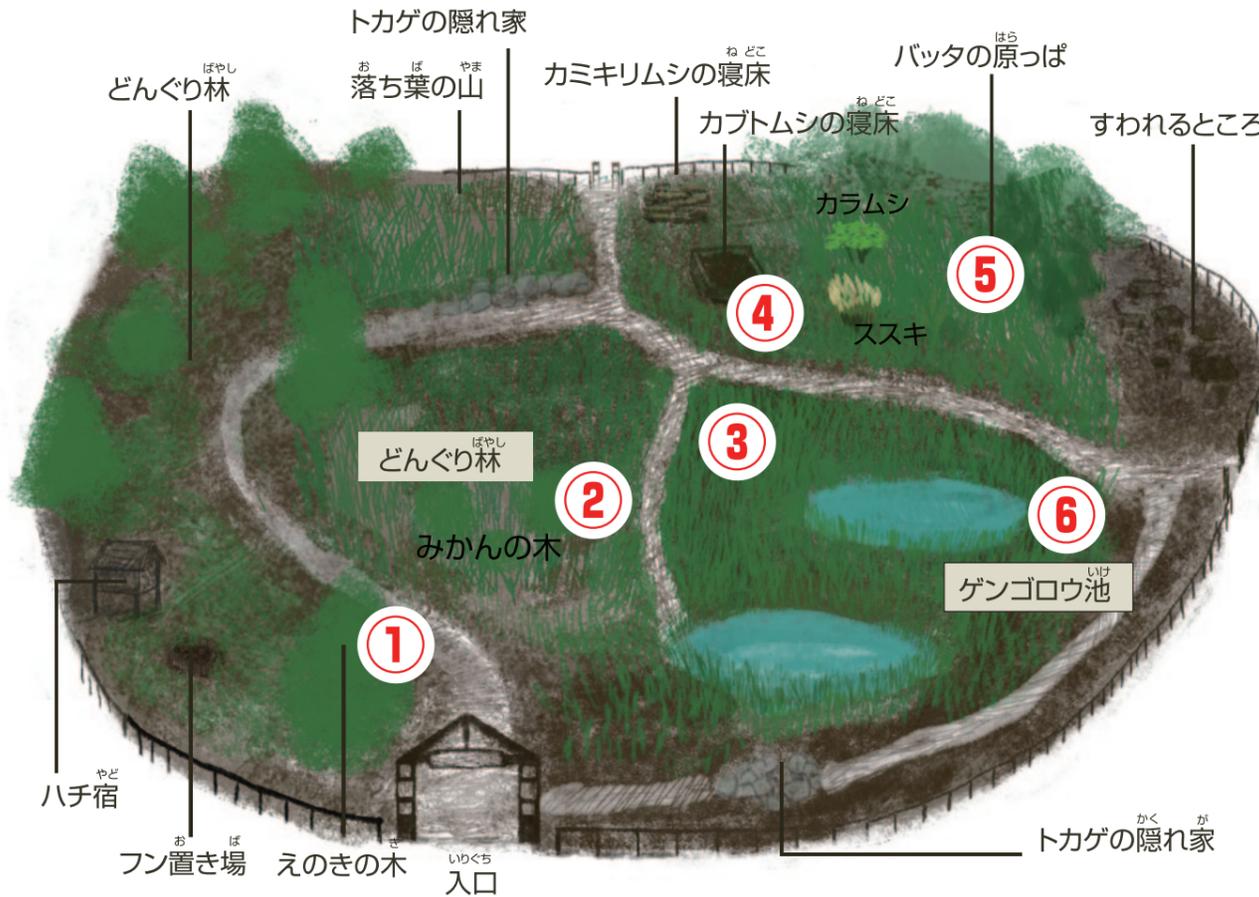
体の側面にこげ茶色のスジが入っているのが特徴のバッタの仲間です。チカラシバの上で交尾をしていました。(下:メス 上:オス)



④ オオカマキリの卵



カラムシに産みつけられていました。卵で越冬し、春になると中からたくさんの赤ちゃんカマキリが出てきます。



いきもの広場は、動物園の中に作った「近所の自然」です。広場のなかには様々な環境や生き物と出会うための小さな仕掛けがたくさんあります。最近暑さも和らぎ、実が色づく秋らしい雰囲気を感じられます。

⑥ ジョロウグモ



メス(写真)はオスよりも、体が大きいです。今の時期は交尾をする時期で、メスの巣にオスが一緒にいる姿が見られます。

⑤ ヒメカメノコテントウの幼虫



幼虫は成虫とずいぶん違う姿をしています。成虫も幼虫もアブラムシの仲間を食べます。

ガズミの実がみのっています

ガズミの実は、鳥たちに見つけてもらいやすいように赤色をしています。鳥たちに食べられ、より遠くへ種子を運んでほしいためです。

